

経営比較分析表（令和2年度決算）

三重県 紀宝町

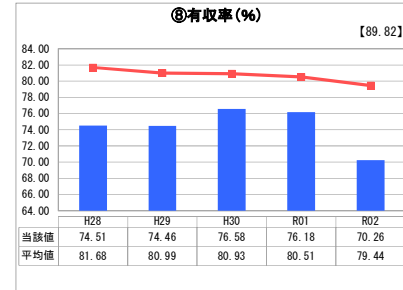
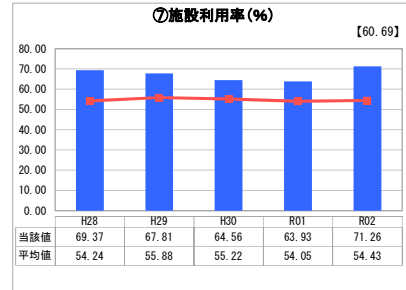
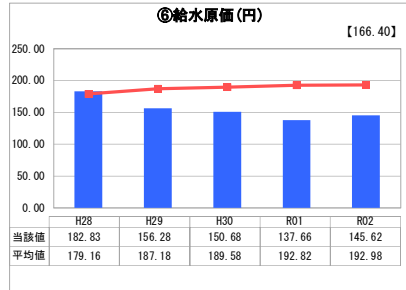
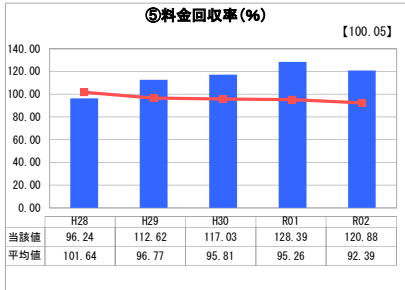
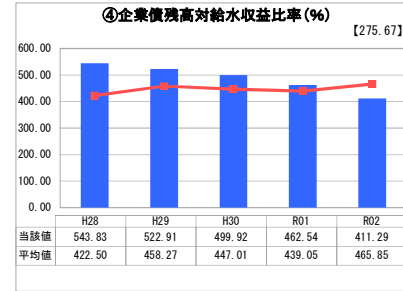
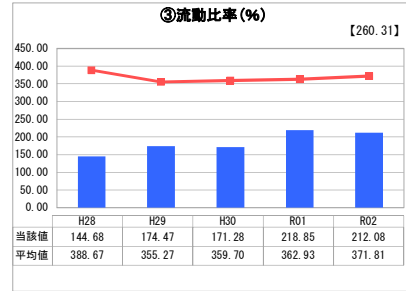
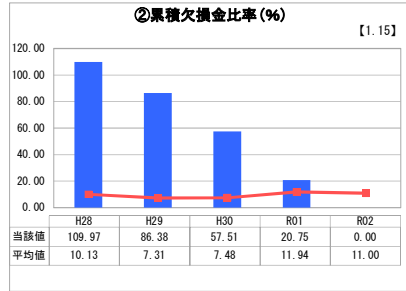
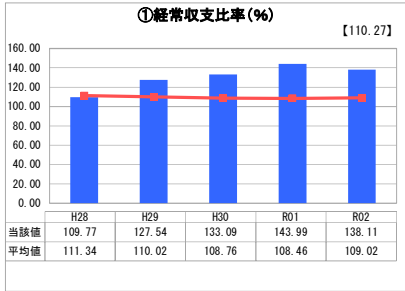
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	51.10	97.20	3,170	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,711	79.62	134.53
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
10,375	15.86	654.16

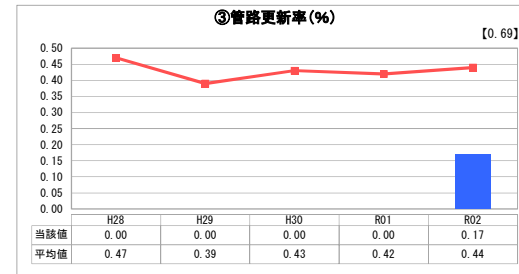
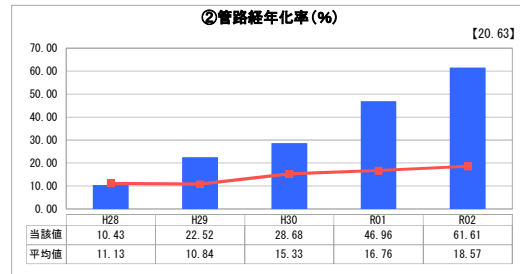
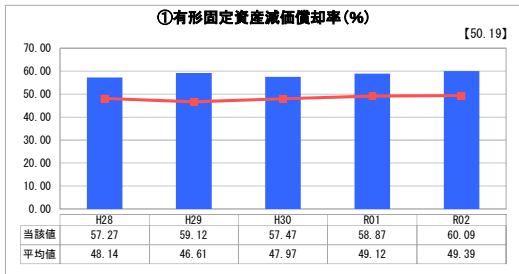
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成27年度に料金改定を行ったこともあり、料金改定以降は経常収支比率は100%を上回っており、料金回収率も100%を上回って推移している。しかし、減価償却費の減少も要因となっていることから、今後施設の更新にかかる財源などを確保する為にも、経営改善に向けた取組を継続していかねばならない。
 累積欠損比率は年々減少し、令和2年度において欠損金は解消された。
 流動比率においては100%を上回っているが、類似団体と比べると平均値を下回っている。
 企業債残高対給水収益比率は少しずつ改善してきている。
 施設利用率については、余裕があり特に問題はないと思われる。
 有収率は、管路の漏水が多かった為、昨年と比べ大きく減少している。全国平均、類似団体と比べても低い状態にある為、有収率の向上に努めていかなくてはならない。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率が高く、資産の老朽化が進んでいる状況であるが、施設を更新する財源の確保が難しい状況である。
 創設から40年以上経過し、管路経年率が大きく増加しており、管路の老朽化は進行している。令和2年度に作成したアセットマネジメント（資産管理計画）を基に更新を進めていく必要がある。

全体総括

平成27年度に料金改定を行ったことにより、料金改定以降は経常収支比率は100%を上回っており、累積欠損比率は年々減少し、令和2年度において欠損金は解消された。今後とも費用の抑制及び収益の確保において改善を行い、有収率についても向上の為、効率的に管路更新や漏水修理を行っていく必要がある。
 創設から40年以上経過し施設及び管路の老朽化が進んでいる。令和2年度に作成したアセットマネジメント（資産管理計画）を基に更新を進めていく必要がある。